

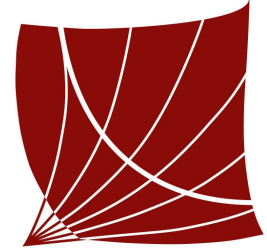
# はらはちぶ

医療法人 敬愛会

【発行日】平成19年11月1日

第 89 号

## 東近江敬愛病院ホームページ



東近江敬愛病院ホームページをネットで観られたことがありますか？

アドレスは <http://www.keiaikai.or.jp/> です。

開設は数年前からですが、新しい病院建物が竣工したのをきっかけに“スタッフルーム”“併設施設”などのページを設け、リニューアル致しました。当院のホームページは、業者に作成委託をせずに職員で作成・運営をしております。

素人の手作りのため、専門の方が作成されたものに比べると派手さや見栄えはありませんが、各職員が忙しい業務の傍らこつこつと作った努力作です。

先日より、当院ホームページへのアクセス数をカウントしておりますが、一日あたり100件をはるかに上回るアクセスがあり驚いております。医療機関に対する一般市民の方々の興味の高さと、ホームページを利用したの病院探しなどのためにアクセスされているものと思います。まさに現在社会を象徴する結果と思っております。殆どのお家でインターネットを観る事ができ、また、情報収集手段として使われていると言う事でしょうか。今までは、病院のホームページについては担当者も不明確で、病院としては余力を注いできませんでしたが、今後は上記を踏まえ、運営に努力して行く必要を痛感しております。

また、この“はらはちぶ”も1年分をホームページで観ることも出来ます。先日、以前当院に勤めておられた看護師さんが来院され、現在は県外に住まわれていますが、ホームページで病院の竣工を知り、“はらはちぶ”も毎月読んでいます と言っておられました。発刊より8年以上を経過しましたが、当初は病院でしか読まれなかったものが、今はホームページ上で何処に居ても読むことが出来ると思うと、編集に対し熱が入ります。

一度、当院ホームページをご覧ください。また、ご意見やアドバイスなどもお寄せ下さい。職員のみならず患者様も含め、当院に関係する皆様のお力で、“東近江敬愛病院のホームページ”を少しずつでも内容の濃いものにしていけたらと願っております。



日本医療機能評価機構認定病院  
救急病院

### 東近江敬愛病院

電話 0748(22)2222

FAX 0748(22)2221

[Http://www.keiaikai.or.jp/](http://www.keiaikai.or.jp/)

### 目次:

東近江敬愛病院ホームページ	1
動脈硬化を調べる検査	2
医療技術科	
我が家の家族 Part2	3
副看護部長 上園恵子	
インフルエンザ予防接種	4
編集後記	5



発行責任者：広報委員会

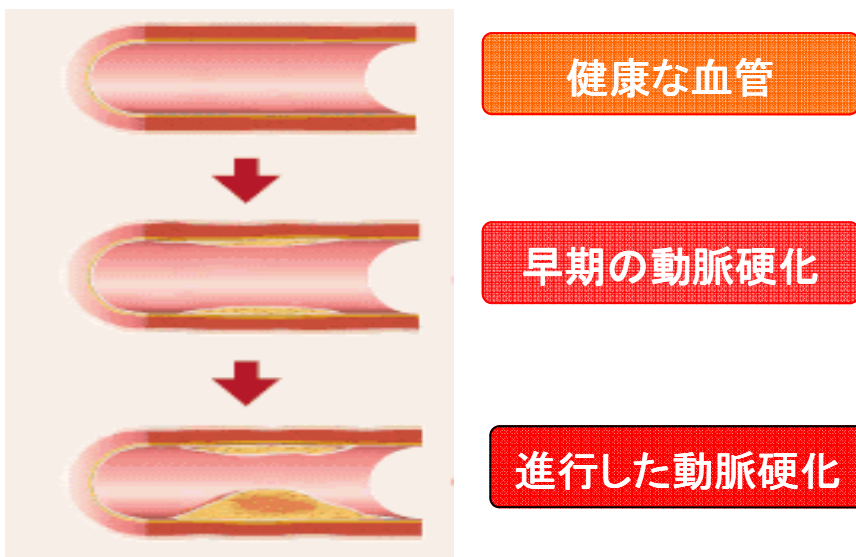
# 動脈硬化を調べる検査

医療技術科

近年の生活習慣病の増加に伴って疾病構造が変化し、血管疾患が著しく増加してきています。生活習慣病には、『糖尿病』『高血圧症』『高脂血症』など多くの病態があり、その病態により、全身の動脈が侵されることで、全身の重要臓器の虚血性障害（脳血管障害、心筋梗塞、腎不全など）をきたします。これを防ぐ為に、動脈硬化の早期発見、早期治療の必要性が重要視されています。

## 動脈硬化とは・・・

血管の壁が厚くなり、血液の通りが細くなり、血液の流れが悪くなる病気です。



## 動脈硬化の診断には頸動脈エコーの診断が有用です！！

動脈硬化は、血管の壁が厚くなることから始まります。血管の厚み（IMT）を計測することで、動脈硬化を早期に診断することができます。エコー検査は、ベッドに仰向けで寝ながら行い、痛みもなく20分前後で終わる検査です。頸動脈は、動脈硬化の好発部位であり、頸動脈の動脈硬化を評価することは全身の動脈硬化を把握する手掛かりとなります。

## 欧米化！！

私達日本人の食生活は近年、欧米化し、脳梗塞・心筋梗塞など動脈硬化性に起因する疾患がたいへん増加しています。高脂血症、糖尿病、高血圧などの生活習慣病を有する患者様においても動脈硬化の危険因子を調べる上でも有用な検査と思われます。

（検査は医療技術科職員が行います。詳しくは、診察時または受付にお尋ね下さい。）

# 我が家の家族 Part2

副看護部長 上園 恵子

前回、“我が家の家族”を紹介させていただいてから早1年と4ヶ月が過ぎました。時々皆さまから「ワンちゃん達、元気ですか？」と声をかけていただくことがあります。「はい、とても元気ですよ、ありがとうございます」と返事をしながら・・・実は雑種の和夫君（通称カズ君）が昨年18歳の誕生日を迎える前日に天国へ旅立ちました。

辛くて寂しい日々を過ごしておりましたが、ある日、仕事帰りになにげなく空を見上げると、「お母さん、もう泣かないで、僕とても幸せだったよ!!」と、長布団の上に寝転んでいるカズの形をした雲が話しかけてくれたのです。突然のことでびっくり、知らない間に涙が流れていました。いつまでも、くよくよしていたらだめ・・・そう思っても気持ちを整理するのにとても時間がかかりました。

そういうわけで、我が家は2人と5匹の7人家族になりました。

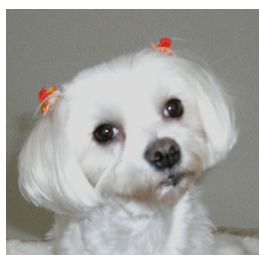
その後、ついつい他の子をかわいがりしすぎたのか、全部“デブ犬”に変身してしまいました。えらいことです。雑種のポッチ君も首輪がきつなくなっていました。その中でも特にミナミちゃんは、少し動くとクシャン、クシャンし、とてもしんどそうな息づかいをしました。もしかして心不全になったかな？と思い病院へ直行、先生からひと言「太りすぎ」とお叱りを受けてしまいました。

今まで私たちと同じ食物とささみジャーキーしか食べていなかった我が家の子供達は、豆えさ（ドックフード）に変更するよう先生から指導が入りました。そこで「先生、いきなり豆えさにしたらこの子供達、食べなくなって胃液を吐くと思うので半分ジャーキー食べさせてもいいですか」そこでまた爆弾指導、「何言っているんですか、そんなんではドックフードに切り替えることはできへんで!! 胃液吐いても食べるものがなくなれば食べるんや」「はい」病院にいた他の飼い主の方たちも大笑い、私も思わず照れ笑い。

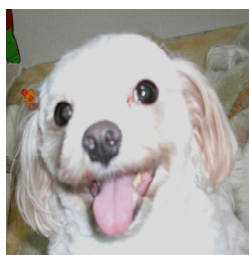
それからが大変です。食事の時はテーブルの下に来てお座りをしたり、クーン・クーンと泣いたり、頂戴をしたり・・・泣きたい気持ちを必死にこらえ1週間、ようやく豆えさを食べるようになりました。すると、なんと3週間後に大変身？をしました。外犬のぽっち君は首輪がゆったりとし、ミナミちゃんは5,5kg→5,1kg、大輔君と志保ちゃんは5,5kg→5kg、美幸ちゃんはなんと4kg→3,1kgとダイエットに成功したのです。ミナミちゃんの目標体重は4kg。これからも頑張ります。

そうそう2人の孫は？と言えば、最近娘夫婦の帰りが遅く土・日曜日だけ顔を見せてくれます。ちょっぴりかわいくなってきました。なぜかといえば、私が子供達をいじめなくなったからです。町内の運動会では玉ころがしに「一緒に出る」なんて言ってくれるし、「ばあちゃん大好き」と擦り寄ってくるようになりました。ちょっと、はおばあちゃんらしくなってきたのかなあと考える今日この頃です。

我が家の大事な子供たちを紹介します !!!



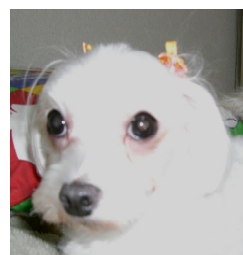
志保ちゃん



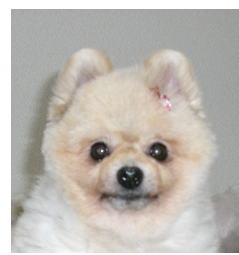
大輔君



ポッチちゃん



美幸ちゃん



ミナミちゃん

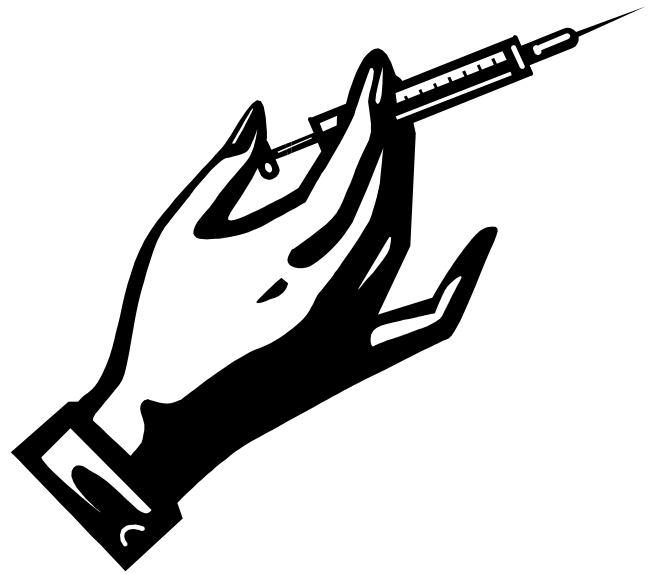


# インフルエンザ予防接種

もうすぐインフルエンザの流行が予想される時期になります。

インフルエンザの予防接種は、インフルエンザにかかりにくくしたり、重症化を防ぐ効果があります。特に抵抗力の弱い高齢者や幼児、慢性疾患を持っておられる方がインフルエンザに感染すると重症化しやすく、死にいたることも考えられます。

当院でも予防接種を受けることができます。但し、小児科はありませんので対象は12歳以上とさせていただきます。



なお、以下の方は、

一部公費負担によりインフルエンザワクチンを **1,000円** で接種することができます。

## 公費対象者

- ① 東近江市民で接種日に満65歳以上である人
- ② 東近江市民で接種日に満60～65歳未満の人で、厚生労働省令で定める心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能の障害で、日常生活が極度に制限される障害のある人

詳しくは、病院受付でお聞き下さい。

## 編集後記

紅葉の季節となりました。

東近江市には 永源寺・百済寺・紅葉公園・延命寺公園・・・ など沢山の紅葉の見所があります。特に“永源寺”の紅葉は近年は関東方面、遠くは東北・四国・九州方面からも観光に訪れる方も多く、“全国区”の人気です。もともと、このシーズンは観光客が多かったのですが、10年以上も前に、夜の10:00から“久米宏”さんが司会をされていた「ニュースステーション」で放映・紹介されてから倍増したようです。(永源寺境内でピアニストがピアノを弾かれました)

この時期、休日になると“名神八日市出口”から“永源寺山門”までの10キロ余りに県外から来られた車が数珠つなぎに並びます。来年は“永源寺温泉”も出来るそうですので益々観光地として栄えるのではと思います。将来は「世界遺産」をも目指してはどうでしょうか・・・。

色々便利な物が開発され生活様式も年々変わっていきませんが、お花見や紅葉狩りなどの様に、人々が心の豊かさを求めるものは、これからも変わらず受け継がれていくことと思います。科学技術の発展と比例して、人々が自然環境に安堵を求める気持ちは、今後益々高まっていく様な気がします。

これもまさに現在社会を象徴するものですかね・・・。